

反射防止剤 CS-MPC1(開発品)

自然界のモスアイ（蛾の目）構造に着想を得て
光の反射を極限まで抑える塗料の開発に成功
あらゆる方向からの光を反射防止
CS-MH1の85°光沢度を改善

RoHS /RoHS2,REACH(SVHC)対応

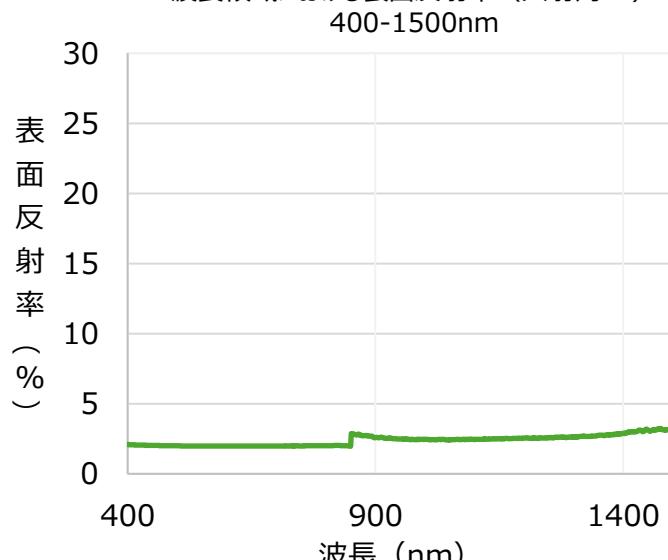
環境対応

特徴

- 微細な表面形成による反射防止
- 優れた85°光沢度
- 金属、プラスチックの各種基材に密着
- 可視光～近赤外領域まで反射防止
- トルエン/MIBK フリー

想定シーン

- ✓ ヘッドアップディスプレイ用などの車載用途
- ✓ カメラなどの光学機器
- ✓ スマートフォン用部品
- ✓ LiDAR用部品
- ✓ ADAS用部品
- ✓ 検査装置用部品
- ✓ 鉄道、道路などの信号機用反射防止
- ✓ その他、反射を抑えたい部品



※850nm付近の段差は、測定機の波長切り替えに伴うものです

◆適用基材◆

PC	ABS	PET	PP	AI
○	○	○	○	○

[混合条件] 主剤:硬化剤:希釈溶剤(酢酸ブチル) = 10 : 1 : 4
[乾燥条件] 80°C 4 h

※グレードによっては適用できない場合があります

◆被膜特性◆

[混合条件] 主剤:硬化剤:希釈溶剤(酢酸ブチル) = 10 : 1 : 4

[乾燥条件] 80°C 4 h [塗布] スプレー塗布

項目	評価結果
材料構成	2液
推奨塗膜厚み (μm)	30~60
全反射 (可視/近赤外) ¹⁾	2.0%/2.5%
光沢度 (20°/60°/85°)	0/0.2/0.2
粗さ Ra/Rz (μm) ²⁾	約10/約25
密着性 ³⁾	○
耐光性 ⁴⁾	変化なし
耐熱性 ⁵⁾	変化なし
熱衝撃 ⁶⁾	変化なし

◆製品構成◆

項目	主剤	硬化剤
主成分	アクリル ポリオール	ポリイソシアネート
外観	黒色液体	淡黄色液体

1) 可視：400-700nm平均、近赤外：900-1500nm平均

2) スプレー塗布時。塗布条件により変化します

3) 基材：アルミ JIS5400-8.5 クロスカット

4) 屋外1年相当、照射前後での反射率の変化量

5) 210°C24hr、投入前後での反射率の変化量

6) サイクル試験投入前後での反射率の変化量
サイクル：39.7°C97%RH×24h → -18°C×20h → 25°C×4hを5サイクル

・2027年1月上市予定^{*1}

*1 : 本日程は現時点での予定であり、変更となる可能性がございます。予めご了承くださいますようお願い申し上げます